

商品委員会だより

太陽油脂株式会社

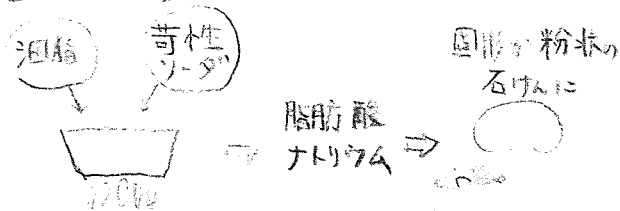
古代ローマ時代に発見された、汚れを落とす不思議な土。それが石けんの始まり。

それは、今から約5000年前のこと。紀元前3000年頃の古代ローマでは、羊を焼いて神に供える風習がありました。その羊から脂が滴り落ちて薪の灰(アルカリ)と混ざると、汚れを落とす不思議な土ができたのです。これが石けんの起源といわれています。

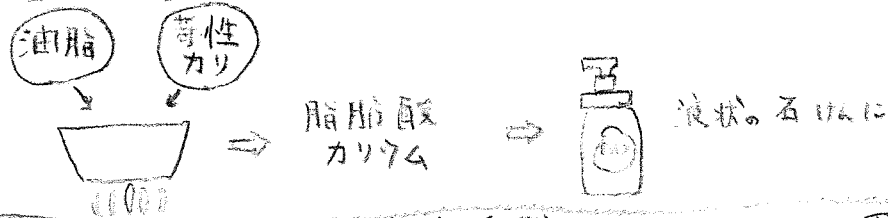
● 石けんの作り方

石けんの主原料は、植物油脂や動物油脂です。その製法は昔も今も基本は変わらず、天然油脂にアルカリを加えて作られます。

油脂とアルカリ(苛性ソーダ)を加熱



油脂とアルカリ(苛性カリ)を加熱



使うとき、人にやさしい。使った後、自然にやさしい。それが石けん。石けんは、人の肌によさしい洗浄料。自然界にある原料だけで作られ、合成化学物質など余計なものは加えません。

石けん排水が川に流れると...

まず石けん分は川の水で薄まり、水中のカルシウムと結びついて、カルシウム石けんになります。これは「食用石けん」とも呼ばれ、その名の通り、微生物や小魚などの餌となり自然に食べられます。

自然に還らないものは、未来へ持ち込まない。それはとても素晴らしい。高温・高圧をかけ化学変化させて作られる合成洗剤は、自然界では分解されにくい洗浄料です。環境への関心の高まりとともに、今、石けんが見直されています。

石けんの洗い上がりが心配、という方へ。

石けんシャンプーも洗顔の疑問にお答えします。

○石けんシャンプーで洗うと、髪がキシキシしませんか？

弱アルカリ性の石けんシャンプーで洗うと、髪のキューティクルが少し開いて、きしみを感じます。でも心配いりません。酸性リンスですすぐと中和され、キューティクルが閉じて、さらさら指通りよく仕上がります。

○洗った後、髪がベタベタします。なぜですか？

シャンプー量が少なく、洗髪途中で泡が消えてしまうと、汚れ落ちが悪くなって、髪がベタベタすることがあります。そんなときは、2度洗いがおすすめ。豊かな泡を保って洗いましょう。また、すすぎが不十分のままリンスをすると、髪に残った石けん分が脂肪酸のベタつきの原因になります。

○人間の肌は弱酸性なのに、弱アルカリ性石けんで洗って大丈夫？問題ありません。洗顔後、すすぐだけで肌は中性に戻り、やがて皮脂分泌とともに自然に弱酸性に戻ります。むしろ「汚れを落とす」という本来の目的から見れば、弱酸性よりも弱アルカリ性のほうが優秀です。皮脂やメイクなど油脂の汚れをよく落とし、厚くなった古い角質を剥がれやすくする効果があります。ちなみに日本三大美人の湯と呼ばれる温泉は、どれもアルカリ泉。肌の代謝を整え、垢剥け美肌を促すといわれています。

未来のために、今、できることを、ひとつひとつ。

- 石油由来の合成界面活性剤は、使いません。
- CO₂を減らし、地球温暖化防止に貢献します。

- こどもたちに石けんのやさしさを伝えます。
- エコアクション21の認証を取得しました。

○RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟しています。